

# みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

T E L 048 - 794 - 1759

F A X 048 - 794 - 3388

E-mail jyougenji@hotmail.com



## 常源寺と檀信徒をつなぐ

### 我逢人（がほうじん）

境内の梅の花もほころび、少しずつ冬の寒さも和らいで春の暖かさを感じる時節となりました。3月は、卒業や人事異動などがあり、別れの時期です。そして、4月は、新しい環境での生活がはじまり、多くの方が新しい出逢いを迎えます。春は、別れと出逢いの季節でもあります。

禅の言葉の一つに「我逢人（がほうじん）」というものがあります。最近では、人気アーティストの歌のタイトルにもなり、広く知られることになりましたが、元々は曹洞宗の開祖である道元禅師の言葉です。道元禅師は、若い頃に本当の師匠を求めて中国へ渡ることを決意し、たくさんの困難を乗り越えた後、如浄禅師という師匠に出逢いました。その時の喜びを「まのあたり先師をみる。これ人にあふなり。（目の前に本当の先生を見た。これこそが人と出逢うということだ。）」という言葉に残されました。この経験が「我逢人」という言葉の元になったと考えられています。

私たちは生まれてから亡くなるまで、さまざまな人と出逢います。家族、親戚、友人、恋人、同僚、上司、部下…。私たちの生活は多くの人々との出逢いによって支えられているといっても過言ではありません。何気ない出逢いが大きな転機につながったということも少なくないはずです。また、出逢いによって自分にはない価値観を学ぶこともでき、それによって新たな自分に出逢えることにもつながります。出逢いはすべての物事の始まりであり、自分を成長させるきっかけにもなるのです。

今日の出逢いは明日、そして未来へとつながっていきます。別れと出逢いの季節である春。「我逢人」の思いをもって、今までの出逢い、そしてこれから迎える新しい出逢いを大切にすればきっと思わぬ学びや成長の機会が訪れるはずです。この春、皆様にとって良き出逢いが訪れますことを心よりお祈り申し上げます。

## ■□■ 研修旅行の御案内 ■□■

このたび、3000点もの国宝、重要文化財を伝える東北随一の平安仏教美術の宝庫である中尊寺と、東北の永平寺と言われる日本一の茅葺の本堂を持つ正法寺を参拝する研修旅行を企画いたしました。この機会にぜひ御縁を結んでいただけますよう御案内いたします。御参加を御希望される方は、5月7日（木）までに常源寺へ直接お申し込みください。



中尊寺金色堂

期 日 令和8年6月10日（水）～12日（金） 2泊3日

主な行先 中尊寺（岩手県）、正法寺（岩手県）、南三陸（宮城県）等

## 曹洞宗主催 「禅をきく会」

日 時 令和8年3月11日（水） 12時開場 12時30分開会 16時閉会

会 場 大宮ソニックシティ 1階 大ホール

入 場 料 無料（事前予約不要）

内 容 第一部「体の美しさ」 講師：布施英利先生（東京藝術大学美術学部芸術学科教授）

第二部「心の豊かさ」 講師：石川光学老師（可睡斎西堂・千葉県廣徳寺東堂）

# 春のお彼岸

お彼岸は、春分および秋分の日を中日として、前後の3日ずつを合わせた各7日間をいいます。季節の変わり目にあたり、いのちの尊さや自然の恵みに感謝しながら御先祖様を供養し、御加護を願う行事として古くから行われてきました。各家庭では、だんごやおはぎなどを仏壇に供え、そろってお墓参りに出かける光景が見られます。私たちにとって大変なじみの深い、欠かすことのできない年中行事の一つです。

今年の春のお彼岸は、3月17日から23日までです。ぜひ、この期間に御仏壇に茶菓やお花をお供えして御家族でお参りをしましょう。また、御都合の良い日にお墓へもお参りください。当山では、下記のとおり春季彼岸法要を厳修いたします。皆様の御参列をお待ちしております。

日時 令和8年3月20日（金）春分の日 午前10時より  
場所 常源寺本堂

- ◎事前のお申込みや御予約は必要ありません。
- ◎御布施や御志等も不要です。平服でお越しくください。
- ◎御法要は20分程度で終了する予定です。お墓参りに併せての御参列も可能です。

## お彼岸の御塔婆供養を受け付けます

御供養料 六尺塔婆／一霊・五千元 五尺塔婆／一霊・三千元  
申込方法 電話、FAX、Eメールのいずれかにてお申込みください。  
直接御来山いただいても結構です。  
申込期限 令和8年3月13日（金）まで

- ◎彼岸会法要に参加できない方の御塔婆のみのお申込みも可能です。お申込みの際に、御塔婆をお受け取りになりたい希望日もお伝えください。
- ◎遠方の方、御都合が合わずお墓参りができない方は、お寺で代わりに御塔婆をお建ていたします。御希望の方は、事前に御相談ください。

## 修正会(しゅうしょうえ)を厳修しました

1月2日（金）、新春祈祷法要の修正会を厳修いたしました。当日は、50名程の多くの方々にご参拝いただきました。御法要では、新年にあたり、檀信徒の皆様の家内安全と除災招福、常源寺の寺門興隆、国家の安寧、当日御参拝いただいた皆様の諸縁吉祥等を御祈念いたしました。御参拝いただいた皆様には、御祈祷した御札、境内で採れた銀杏、令和8年のカレンダーを差し上げました。



## 涅槃会(ねはんえ)を厳修しました

2月15日は、仏教を開かれたお釈迦様がお亡くなりになられた御命日で「涅槃会」と呼びます。「涅槃」とは、「消滅する、吹き消す」という意味があり、煩惱や苦しみが消え去った安らぎの境地のことを指します。涅槃会当日は、全国の寺院でお釈迦様の最期の姿を描いた「涅槃図」を掲げ、お釈迦様が身体的な苦痛から解放され、完全な悟りの境地に至ったことを讃える御法要を行います。常源寺においても、2月15日に御本堂において涅槃会の御法要をお勤めいたしました。

